

パソコン操作機器の製作

1 相談内容

子供が自分でパソコンを操作できるような機器はないかということで、母親からご相談がありました。知人の子供が以前、なごや福祉用具プラザでパソコン操作の機器を製作してもらったとお聞きになり、今回初めて来所されました。

2 利用者プロフィール

10代女性、脳原性四肢麻痺により身体障害者手帳1級であり、両親と双子の姉の4人で暮らしています。小学校では先生に手を添えてもらってマウスを使い、本人の興味のあるホームページを閲覧しているとのこと。自宅にはノートパソコンがありますが、まだ使ったことはないそうです。

3 対応

本人は自宅ではゲームを楽しんでいるとのこと、母親からはゲームと同じか、または似た操作方法でパソコンが使えるようにならないかと相談を受けました。ゲームのコントローラの詳細をお聞きしたところ、画面上のキャラクターを上下左右に動かすためのものだということがわかりました。そこでパソコンの操作を考えて、マウスカーソルを動かすために押しボタンで上下左右方向に動くようにし、決定ボタンを追加して合計5つのボタンと「できマウス。」というハードウェアを組み合わせ、440×250×15mmの板上に製作しました。また、操作のためのソフトウェアとしてJoyToKey(シェアウェアソフト)をインストールすることにしました。



本人が使っているゲームコントローラ



押しボタンスイッチを並べて製作
(黄色が決定ボタン)

4 結果

母親からは、「子供が一人でパソコン操作を問題なくできている。」という報告をいただきました。